

# 経済・金融 フラッシュ

## 企業物価指数 2025年5月

～コメ価格高騰も、国内企業物価は前年比上昇率が4月より鈍化～

経済研究部 研究員 佐藤 雅之

TEL:03-3512-1831 E-mail: m-sato@nli-research.co.jp

### 1. 国内企業物価は6ヵ月ぶりの前年比3%台

日本銀行が6月11日に発表した企業物価指数によると、2025年5月の国内企業物価は、前年比3.2%（4月：同4.1%）と、6ヵ月ぶりに3%台へと鈍化した。

内訳をみると23類別中、18類別が上昇、5類別が低下となった。精米が前年比77.3%、玄米が同77.6%とコメ価格の高騰が続いていることから、農林水産物は前年比42.8%（4月：同43.5%）となった。さらに、コメ価格高騰の影響を受けて、すし・弁当・おにぎりが同11.9%（4月：同12.6%）となったことなどから、飲食料品は前年比4.2%（4月：同4.0%）と高い伸びが続いている。一方、電力・都市ガス・水道は、電気・都市ガス代の支援策は終了したが、前年の水準が高かったため、前年比6.5%（4月：同10.1%）と前月から伸びが鈍化した。

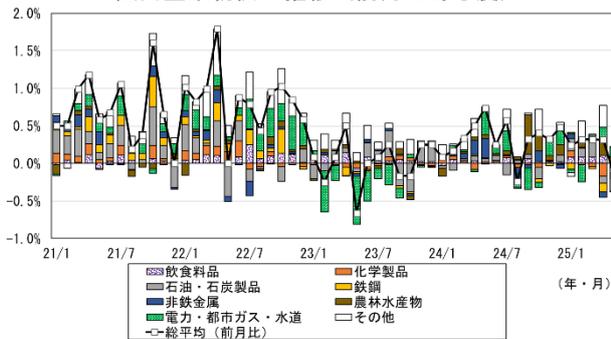
国内企業物価の前月比は▲0.2%（4月：同0.3%）と9ヵ月ぶりにマイナスとなった。ガソリンが前月比▲4.8%、灯油が同▲7.1%と大きく低下したことから、石油・石炭製品が前月比▲4.8%（寄与度：▲0.33%）と全体を押し下げた。

企業物価指数の推移

	国内企業物価		輸出物価 (円ベース)		輸入物価 (円ベース)	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
24年 4月	0.5	0.9	2.2	11.1	2.1	7.0
5月	0.7	2.3	1.6	11.0	2.3	7.1
6月	0.2	2.6	0.8	10.5	0.6	9.6
7月	0.6	3.1	0.0	10.3	0.4	10.7
8月	-0.2	2.6	-5.2	2.5	-6.2	2.5
9月	0.3	3.1	-1.7	-1.0	-2.9	-2.6
10月	0.4	3.7	2.5	0.9	2.9	-2.3
11月	0.3	3.8	1.9	2.5	1.7	-1.2
12月	0.5	4.0	-0.7	4.5	-0.7	1.4
25年 1月	0.2	4.2	1.4	4.7	1.3	2.2
2月	0.3	4.3	-1.5	1.8	-1.9	-1.1
3月	0.3	4.3	-1.0	0.1	-1.6	-2.4
4月	0.3	4.1	-2.2	-4.3	-3.0	-7.3
5月	-0.2	3.2	-0.7	-6.4	-1.1	-10.3

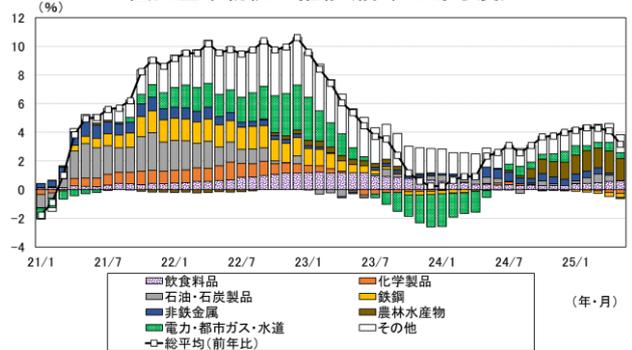
(資料) 日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価の推移 (前月比寄与度)



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価の推移 (前年比寄与度)



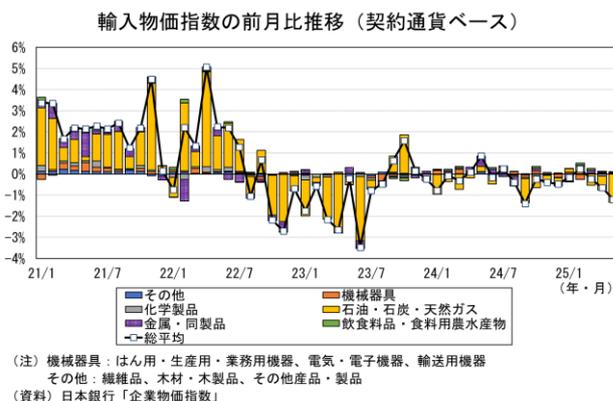
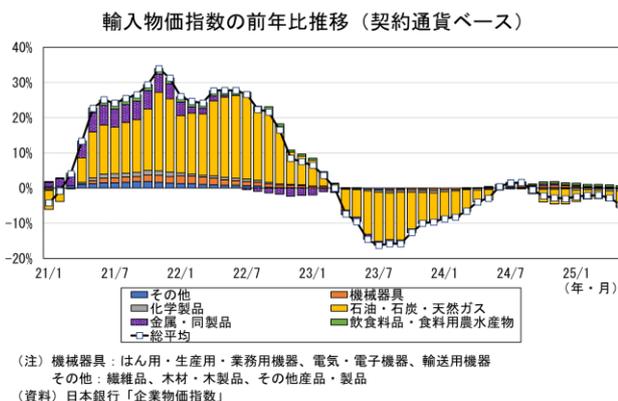
(資料) 日本銀行「企業物価指数」

## 2. 契約通貨ベースの輸入物価は前年比▲4.7%

5月の契約通貨ベースの輸入物価は、前年比▲4.7%（4月：同▲2.7%）と9ヵ月連続のマイナスとなった。内訳をみると、ガソリンが前年比▲22.4%と10ヵ月連続のマイナス、ジェット燃料油が同▲18.1%となったことなどから、石油・石炭・天然ガスは前年比▲14.3%（4月：同▲9.3%）と9ヵ月連続でマイナスとなった。

契約通貨ベースの前月比では、▲1.2%（4月：同▲0.6%）と3ヵ月連続のマイナスとなった。内訳をみると、原油が前月比▲6.2%と3ヵ月連続のマイナス、液化天然ガスが同▲2.2%と4ヵ月連続のマイナスとなったことなどから、石油・石炭・天然ガスは前月比▲4.7%（4月：同▲2.3%）と3ヵ月連続でマイナスとなり、全体を押し下げた。

5月の為替相場は、対ドルでは144円台（前月比0.2%）と前月から横ばいで推移し、円ベースの輸入物価は前月比▲1.1%（4月：同▲3.0%）と前月よりマイナス幅が縮小した。



## 3. 先行きの国内企業物価は2%台で推移すると予想

国内企業物価は前年比の伸び率が前月から鈍化し、6ヵ月ぶりに前年比3%台となった。先行きについては、飲食料品の上昇率が前年比4.2%と2023年夏頃（同8%台後半）に比べれば低水準にとどまっているものの、食料品値上げの動きはしばらく続く可能性が高い。そして、電気・都市ガス代の支援策は2025年7～9月使用分で再開されることとなったが、2024年8～10月使用分でも実施されており、値引き額は今回のほうが小さいため、支援策によるエネルギー価格の前年比上昇率の押し下げ幅は限定的にとどまるだろう。一方、農林水産省が6月9日に発表した5月26日の週のコメの平均店頭価格は4,223円/5kgと2週連続で価格が下落している。備蓄米の販売が本格化していることで、コメ価格は次第に下落していくことが見込まれる。以上より、先行きの国内企業物価は2%台で推移すると予想する。

本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。